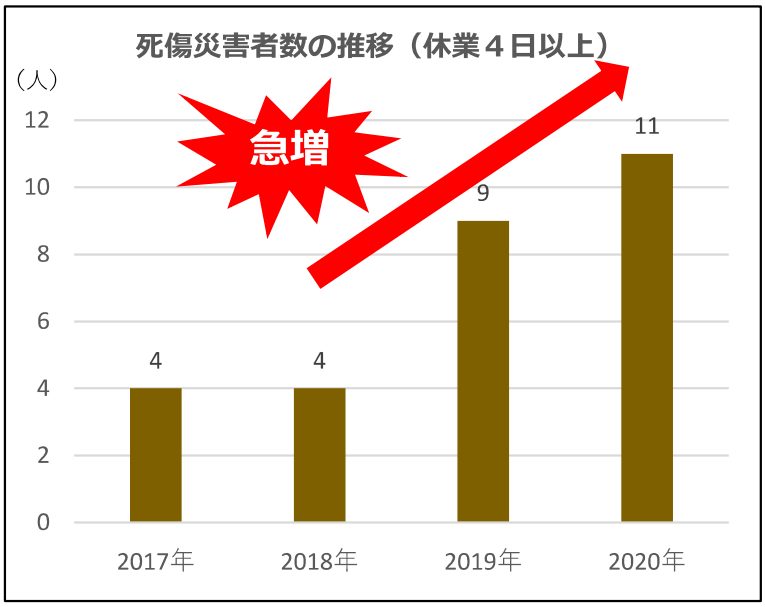
畜産業で働くみなさま

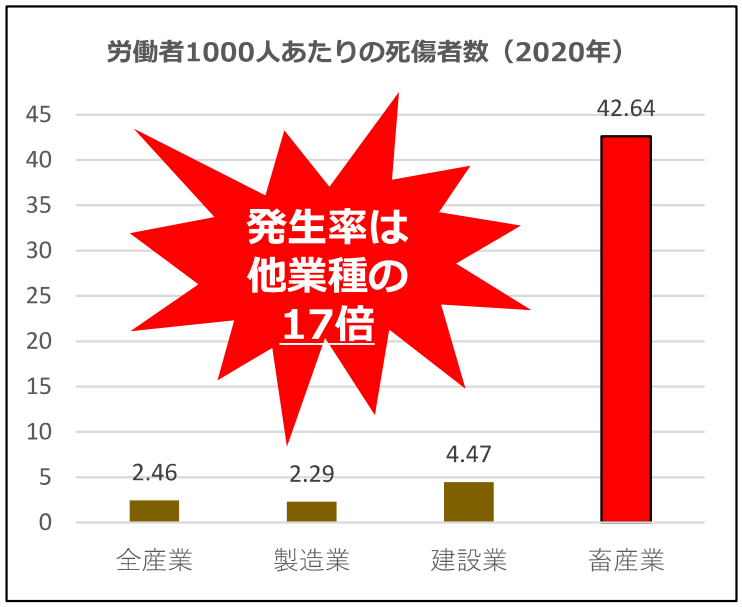
労働災害が増えています！

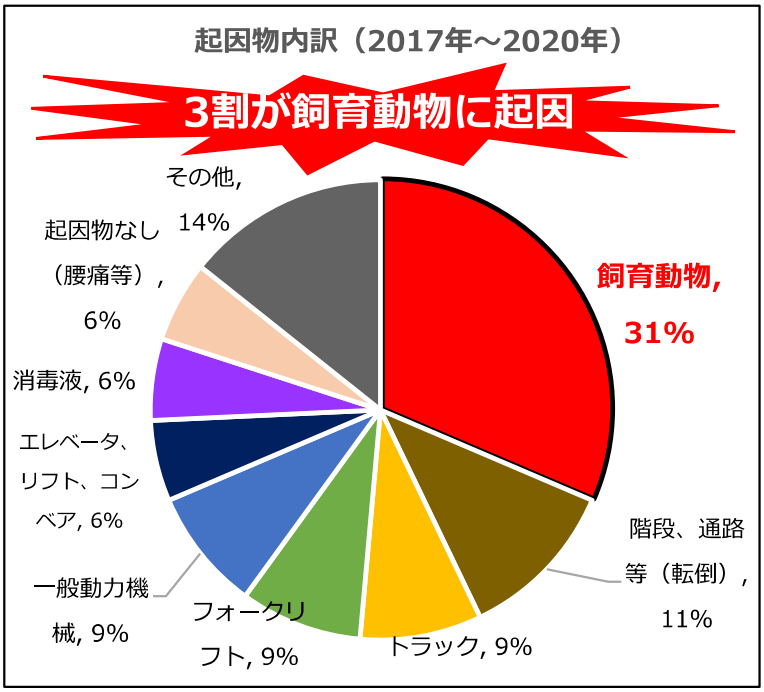
今一度、安全衛生対策を見直しましょう！

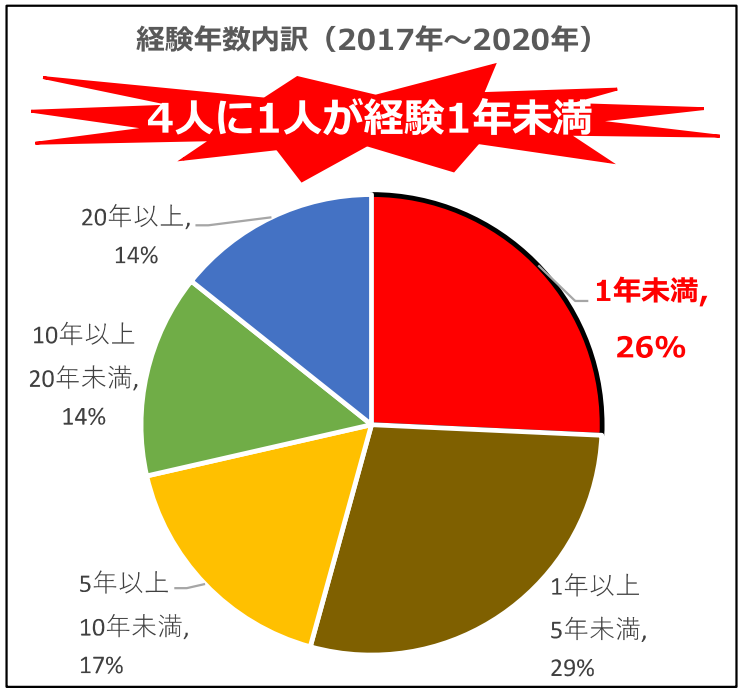
一関署管内（※）における畜産業の労働災害の現状

（※）一関市、平泉町、奥州市のうち前沢及び衣川









労働災害による休業は、人手不足に拍車をかけ、生産活動に支障を生じさせるおそれもあります。
飼育動物の習性や作業の特性を踏まえて、
<u>より安全な作業方法を検討し</u>、労働者に対して、
<u>安全衛生教育を十分に行いましょう</u>！

厚生労働省・岩手労働局・一関労働基準監督署　R3.7作成

労働災害（対策）事例

事例１　飼育動物（豚）との接触



出荷のための移動中、驚いた豚が逆走し、止めようとしたが体当たりされ負傷した。



反転できないよう極力通路を狭くし、「追込板」で衝突を回避している。膝を保護するため、膝あても併用している。

事例２　飼育動物（牛）との接触



繋留せずに牛房内で床の敷き均し作業を行っていたところ、牛に追突された。



スタンチョンで牛を繋留することにより、牛に追突される危険性を低減している。

事例３　サイロからの墜落



飼料の残量確認のため、はしご道を昇降中、降雨で手及び足を滑らせ墜落した。



サイロ上部の手すりに安全ブロックを設置し、墜落を防止している。